The Yamaguchi Prefectural Museum of Art

山口県立美術館ニュース「天花」

104

天花

TENGE

contents

常設展
「日本画の流れ」
平成19年度　展覧会予告
年間スケジュール

高橋由一　「鶴図」　山口県立美術館蔵

Exhibition

常　設　展

香月泰男室

「油彩画のはじまり」

4/10tue～7/1sun

表紙作品解説

高橋由一　「鴨図」　明治10（1877）年
油彩　カンヴァス　35.8×67.0㎝
山口県立美術館蔵

絵の中央に、鴨がごろりと仰向けに横たえられています。足に力は無く、首を胸の方に折りたたまれ、不自然に固まったまま動かない鴨。その足下に添えられたのはフキノトウでしょうか？下に敷かれた茎の長い野草はまるで鴨を包みこんでいるように見えます。

この絵を描いた高橋由一（1828－1894）は、日本における油彩画の開拓者として知られています。幕末の江戸に生まれた彼は、舶来の石版画に感激して、いちはやく西洋画、すなわち油彩画を志したのです。

由一が魅せられたのは、西洋絵画が持つそれまでの日本絵画にはない迫真的な表現でした。そのことを一般に広めるために、彼は生活に密着した身近なものを描いてみせたといいます。この作品の鴨も、身近な食材であるがゆえに題材に選ばれたのでしょう。丁寧に描きこまれた羽毛は、首、翼、尾の部分で少しずつ筆づかいが違っています。毛の長さや質感の差を忠実に描こうとした画家の意気込みを感じるとき、目の前の鴨は、いっそう生々しく、見る者に立ち現れてくるでしょう。

幕末から明治にかけて迫真的描写の「技術」として紹介された油彩画は、その後、単なる技術にとどまらない豊かな展開をみせます。春の常設展「油彩画のはじまり」では、開拓者・高橋由一と、彼が拓いた道に続いた山口県の洋画の先駆者たちを紹介します。

（当館学芸員　剱持あずさ）

桜や松の見
狩野松栄は

①に展示]

を育て
ます。
野派の
狩野派

渡辺子摩は
この絵では

小林和作室・資料展示室

「雲谷派」　Ⅰ:4/10～5/6
Ⅱ:5/8～6/3
Ⅲ:6/5～7/1

雲谷等顔（1547～1618）にはじまる雲谷派は、雪舟の画風を受け継ぎ、代々毛利家の御用絵師として活躍しました。今年度は、当館の持つ雲谷派コレクションを6期にわけて紹介します。春から夏にかけては、雲谷等顔、雲谷等益などを中心に江戸時代前期までの雲谷派を紹介します。

雲谷等顔「群馬図屏風」（左隻部分）
山口県立美術館蔵

山本晃「接合せ短冊箱『紡』」
山口県立美術館蔵

郷土工芸室

「金工と赤間硯」　4/10～7/1

繊細な細工が魅力の金工と、滑らかな石肌が魅力の赤間硯は、どちらも山口県の重要な工芸分野です。山本晃、堀尾信夫などによる、伝統によりながらも新しい表現を追求した作品を紹介します。

第二常設展示室

「狩野芳崖」　4/10～5/20
「森寛斎」　5/22～7/1

長府藩の御用絵師の家に生まれ、幕末から明治の激動の時代に生きた狩野芳崖（1828～1888）は、その才能をアーネスト・フェノロサに見いだされ、新しい日本画の旗手として活躍しました。また、毛利藩士の息子として萩に生まれた森寛斎（1814～1894）は、京都で活躍し、明治維新後は京都画壇の重鎮となりました。山口県が誇る二人の巨人の作品をお楽しみください。
香月泰男室「油彩画のはじまり」とあわせて、明治の油彩画と日本画の共通点や違いにも注目してみてください。

狩野芳崖「呂洞賓鉄拐図」
山口県立美術館蔵

美術館ボランティアによる**「常設展ギャラリー・トーク」**

「こどものためのギャラリー・トーク」
常設展の「油彩画のはじまり」で行います。
日　時：毎週土曜日　11：00-11：30
参加費：無料（大人は常設展観覧料が必要です）

「常設展ギャラリー・ツアー」
日　時：毎週土曜日　13：30-14：00
参加費：無料（常設展観覧料が必要です）

日本画の流れ

当館では、雪舟が山口で活躍した室町時代から現代までの日本画を、郷土の画家を核としながら、それに関連する画家たちの作品も含めて収集してきました。本年度は、年間を通じて、5回に分けて所蔵品・寄託品の日本画を年代順に紹介していきます。岩絵具や墨を用いて描かれた絵画の多彩な展開の歴史を紹介していきます。

年　間　予　定

①室町～江戸：4/10～5/6
②江　　戸：5/8～27
③江戸～明治：6/26～7/22
④明治～大正：12/26～2008/2/3
⑤大正～昭和：2/26～4/6

①室町～江戸　：4/10tue～5/6sun
②江　　戸　：5/8tue～27sun

雪舟落款「山水人物図」〔①に展示〕

室町時代の山口では、大内氏のもと、雪舟が活躍し、多くの弟子を育てました。それらの画家たちは、各地で活躍し雪舟スタイルを展開します。一方室町から桃山にかけて、京都で主流となっていったのは、狩野派の画家たちでした。室町から桃山時代を経て江戸に至る、雪舟流や狩野派の絵などを紹介します。

桜や松の見事な枝ぶり、にぎやかに集う鳥たちに注目！
狩野松栄は16世紀後半の狩野派の絵師です。

狩野松栄「四季花鳥図」［①に展示］

渡辺了慶は17世紀前半に活躍しました。さわやかな水辺の風景を描いた
この絵では、舟の上で語りあう人や門前をはく人の姿も見えます。

渡辺了慶「山水図」［②に展示］

平成19年度　展覧会予告

山口県総合文化芸術祭
第61回山口県美術展覧会
2007年8月23日(木)～9月9日(日)

県美展の会期が決まりました！今年は例年より少し早めですので、ご注意ください。
事前協議の日程や搬入日時などは次号「天花」でお知らせいたします。

田中米吉――“ドッキング”からの視点
2007年9月28日(金)～10月28日(日)

1960年代から現在まで山口を拠点に精力的に制作を続けている、田中米吉（1925－）の個展を開催します。点字という、ある機能を伴ったシステムと芸術とを結びつけた作品から始まり、近年の穴を空けた立体の作品まで、作品の形はいろいろ変化しますが、40年間の制作活動のなかで、一貫しているのは「見る」という行為に対する関心です。初期の作品から最新作までで田中米吉の「目」を探ります。

参考写真：「Untitled No.120－1990」
（佐賀町エキジビット・スペースでの個展）
撮影：山本糾

モディリアーニと妻ジャンヌの物語展
2007年11月10日(土)～12月16日(日)

エコール・ド・パリを代表する画家、アメデオ・モディリアーニ（1884－1920）と、その妻ジャンヌ・エビュテルヌ（1898－1920）。夫の死後わずか二日後に妻が後を追ったという彼らの悲劇はよく知られています。この展覧会では、モディリアーニとジャンヌの二人の作品を、油彩、水彩、デッサンなどあわせて約120点で紹介します。芸術家としてのジャンヌに焦点を当てつつ彼らの歩んだ軌跡をたどることで、絵に刻まれたかけがえのない出会いを浮きぼりにします。

アメデオ・モディリアーニ
「大きな帽子を被ったジャンヌ・エビュテルヌ」
1918年　個人蔵

2007-2008 schedule

山口県立美術館　平成19年度年間スケジュール

	特別展	常設展
4		4/10 雲谷派① 狩野芳崖 日本画の流れ①
5		5/6 5/8 金工と赤間硯　油彩画のはじまり 雲谷派② 5/20 5/22 日本画の流れ② 5/27
6	6/1～6/10　日本工芸会山口支部設立50周年記念「第30回記念伝統工芸新作展」 6/15～6/24　第46回日本現代工芸美術展	6/3 6/5 森寛斎 雲谷派③ 7/1 6/26
7	7/24～7/29　第25回山口県書道連盟展	7/3 昭和の写真 日本画の流れ③ 昭和の香り① 香月泰男の夏 7/29 7/22
8	8/23～9/9 山口県総合文化芸術祭 第61回山口県美術展覧会	十二代三輪休雪　昭和の香り 8/19 8/21 昭和の香り② 香月泰男の動物園
9	9/28～10/28 田中米吉 ―“ドッキング”からの視点	9/30 10/2 雲谷派④
10		10/28 10/30 彫る・切る・削る　近現代の立体 雪舟
11	11/10～12/16 モディリアーニと妻ジャンヌの物語展	11/25 11/27 日本人の見たヨーロッパ
12		12/24 12/26
1		1/14 1/16 絵付けされた陶器　山陽小野田市・岩崎寺の仏像　小林和作のコレクション　松澤宥 日本画の流れ④ 2/3
2	2/6～2/10　山口県立大学卒業制作展 2/14～2/17　山口芸術短期大学卒業制作展 2/21～2/24　山口大学卒業制作展	2/17 2/19 風景画の世界 雲谷派⑤ 2/26
3		3/9 3/11 現代美術入門Ⅰ―色― 日本画の流れ⑤ 雲谷派⑥ 4/6

Information

■休館日
月曜日（月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館）
年末年始（12月28日～1月3日）

■開館時間
9:00～17:00（入館は16:30まで）

■料金
常設展：一般190（160）円　学生120（100）円
（　）内は20名以上の団体料金
特別展：別途に定めた料金
常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方等は無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural Museum of Art
〒753-0089
山口市亀山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
http://www.art-museum.pref.yamaguchi.lg.jp/

山口県立美術館ニュース「天花」第104号　平成19年3月15日発行
発行 山口県立美術館　印刷 森重印刷株式会社